

■米国：ケンパー郡 IGCC プロジェクト、また運転開始を延期

サザン・カンパニーの子会社ミシシッピー・パワー社は 2017 年 1 月 31 日、ケンパー郡に建設中の石炭ガス化コンバインドサイクル (IGCC) 発電所 (58.2 万 kW) の運転開始を 2017 年 2 月末まで延期すると発表した。同社はこのプロジェクトで最終的な起動試験を継続し、1 月 29 日に燃焼式タービンでの合成ガスからの発電を含むガス化炉との統合運転を行い、現在、継続的な運転を続けている。しかし確実な供給を提供するのに十分な持続的な運用を達成するプラントの能力をさらに改善するため、修理および修正に必要なおよそ 1 週間の停止を見込んでいる。同社はまた、プロジェクトの運転費見積りの見直しと、最新の天然ガス価格の長期予測の下方修正を受けて、プロジェクトの経済的实施可能性の分析を更新していると発表した。この分析は 2017 年 2 月の末までに完了する予定である。なお、他報道によれば、建設費は当初予算を 40 億ドル上回りおよそ 71 億ドルとなり、完成も 2 年以上遅延している。同社によると今回の遅延により 5,100 万ドルの追加コストが発生するが、州規制当局との合意により、そのコストは需要家ではなく株主から回収されることになる。